

浦の星女学院投書箱！なのだ！

如月07se

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

ショートギャグSS

下ネタあり

キャラ崩壊あり

第2弾です

浦の星女学院投書箱！なのだ！

目次

浦の星女学院投書箱！なのだ！

千歌「さあ私達の番だよ！」

梨子「これは当番制だったのね…」

千歌「ダイヤさんはもうやりたくないって」

梨子「私もやりたくないんだけど…」

千歌「さあ早速一通目を…」ゴソゴソ

『ノクターン先生の次回作に期待してます！次は壁クイオンリーイベントでお会いしましょう』

千歌「なにこれ？壁クイオンリー？そもそもそんな先生浦女にいたっけ？」

梨子「シラナイワヨ ナニモシリマセンワヨ オホホホホ」

千歌「イタズラかな？まあいいや」ポイツ

梨子「ふう…」

千歌「次々」ゴソゴソ

『コーヒー専用自販機を設置しマース』

千歌「絶対却下!!!私コーヒー飲めないもん！」

梨子「却下もなにももうあるわよ？」

千歌「え？」

梨子「理事長室の前に」

千歌「鞠莉ちゃんの仕業か…って意見じゃなくて事後報告じゃん！」

ガラガラガラ

果南「これだから金持ちは…」

ガラガラガラピシャツ

梨子「…え？今の為だけにきたの…？」

千歌「果南ちゃんの決めゼリフだからき！」

千歌「次はどれかな〜」ゴソゴソ

『購買部の商品をもっと増やしてください』

千歌「あーたしかに」

梨子「この前何故か生理用品が追加されてたけどまだまだ品揃えは少ないわよね」

千歌「まあ地味に助かるんだけどね あれ」

梨子「千歌ちゃんは何があつたら嬉しい？」

千歌「みかん！」

梨子「もうあるわよ！つていうかあれ千歌ちゃんしか買ってるの見たことないから！」

千歌「あとはパンとかあつたら嬉しいかな」

梨子「部活のあととかお腹空くもんね。この辺コンビニとかななし」

千歌「でたでた…お得意の東京自慢。悪かったね田舎で！」

梨子「自慢なんかじゃないわよ！ほら！のっぽパンとかあつたらちようどいいんじゃないかな？」

千歌「あんな長いだけのパン国木田しか食わねえだろ」

梨子「ちよつと千歌ちゃん！さつきからキャラ定まつてないよ！それにちゃんと美味しいから！のっぽパン美味しいから！」

千歌「理事長の奢りでシャイ煮パンを追加しますつと」カキカキ

梨子「これはお昼に争奪戦がおこるわね…」

千歌「さてさて〜」ゴソゴソ

『えるしってるか 死神は りんごしかたべない』

梨子「しるか!!!」

千歌「らいとしってるか みかん食べすぎると 手がきいろくなるつと」カキカキ

梨子「しってるよ!!!」

千歌「ねくすとー」ゴソゴソ

『散らかった部屋とかけまして プールを見学してる女の子と解きま
す その心は?』

梨子「なんでなぞかけなんか入ってるのよ!」

千歌「はい!整いました!」

梨子「え!?!」

千歌「どちらも セイリ中です!」

梨子「おお!なるほど!」

千歌「ちかっちですつと」カキカキ

梨子「せめて答えをかきなさいよ!」

千歌「次が最後だね」ペラッ

『図書室の本が少ないすら ただ買って貰うのは申し訳ないから、皆
の読まなくなった本とかを寄付して欲しいすら』

梨子「別に文面にすらって付けなくても…すぐ誰かわかっちゃうよ
…」

千歌「花丸ちゃん…よし分かった!鞠莉ちゃんが図書館丸ごと買う
から!」

梨子「鞠莉ちゃんをなんだと思ってるのよ!」

千歌「え?打出の小槌だけど」

梨子「叩いてもなにもでてこないから!!」

ガラガラガラ

果南「ちゃんと言ってよ!」

鞠莉「…だよね…だから…」

果南「…おらっ!」ベチイン!!!

梨子「アニメの名シーン改変しないで!!!」

鞠莉「oops!」チャリーン

千歌「あ!500円でできた!」

かなまり「てじなーにや！ありがとうございましてー」
ガラガラガラピシヤツ！
梨子「さつきからネタが古いよ！！！！」
千歌「ちゃんちゃん！」

e n d .